

空き家事務所・店舗改修助成金

空き家を改修し、事務所や店舗を新たに営業する場合、500万円を限度に改修費用の2分の1を助成します

ポイント

- 空き家対策をビジネスの創出につなげています
- 風情ある古民家や商店などを活用し、まちの景観を向上

Making the city more “lively” using various “mechanisms”

Takasaki was hailed as a place to go if you want to see old Edo. Although the city has changed with the times, it has seen many people come and go in its development. Nowadays, “urban functions” are being developed around Takasaki Station, “mechanisms” for people to gather are being launched, and the number of people in the city is increasing. “Shop Gururin Taxi” that goes around the shopping streets, and the “Taka-chari” bicycle service. “Takasaki City Machinaka Shoten Renewal Grant Business” that supports the creation of attractive stores. Various mechanisms are creating a new flow of people in the city of Takasaki and a lively atmosphere.



**元気なお店×タクシー&自転車
新しい人の流れが生まれる**

高崎駅西口から歩いて10分ほどの榊町。その一角に、家庭的な定食を中心に、ちよい飲みできるレトロな「榊食堂」があります。市の空き家対策制度を利用して、築約90年の古民家を改修し、開業しました。市外から食へにくるお客さんもいるそうです。また、市は店主を支援するため、店舗の改装や備品の購入に最大100万円を補助する「まちなか商店リニューアル事業」なども行っています。

さらに、まちなかの回遊性を高め、新たなにぎわいを創出するため、新しい移動手段を考案。その一つが「お店ぐるりんタクシー」です。駅前から駅西口周辺の商店街を毎日巡回しています。無料で乗り降り自由、誰でも利用できます。もう一つが登録不要で誰でも利用できる、無料のまちなかコミュニティサイクル「高チャリ」です。専用のサイクルポートが高崎駅や市役所、図書館、大型商業施設などに設置され、百円を入れて貸し出し。ポートに自転車を返却すると百円が戻る仕組みです。こうした仕組みが、高崎のまちなかに、新たな人の流れをつくり、にぎわいを生み出しています。



事前登録不要で、誰でも使える無料の「高チャリ」は、まちなかの移動手段として市民に定着している



高崎駅西口から中心市街地を巡る「お店ぐるりんタクシー」は、誰でも無料で利用できる気軽な交通手段。駅前のにぎわいを周辺の商店街に広げる取り組みの一つ

**市民の新しい足とお店支援で
まちなかに新たな人の流れ**

「お江戸見たけりや高崎田町」とうたわれた高崎。まちは時代とともに形を変えながらも、多くの人が行き交い、発展してきました。中心市街地の衰退や人口減少問題などにより、地方都市は元気がないイメージですが、高崎市は駅を中心に「都市機能」の整備が進んでいます。多くの人が集まる「仕掛け」も打ち出され、まちなかに人が増えてきています。まちなかの商店への支援や空き家対策、新たなまちなかの移動手段の創出などの取り組みを紹介します。